

わんわん×ふむふむ

はまZOO

レッサーパンダ (チイタ♂)

動物園鑑 (レッサーパンダ) / 飼育員奮闘記 (キリンのトレーニング) …P2.3
園長びより (動物園と私) / 獣医師のお仕事 (動物園の獣医師について) …P4
どうぶつクイズ (トカラヤギ) / 11・12・1月のニュース / フォトギャラリー…P5

はまzooスタッフ広場

飼育員監修のはまzoo動物図鑑です！
担当飼育員による推しポイントも紹介♪

動物図鑑『レッサーパンダ』

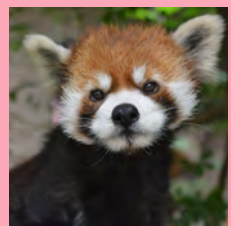
和名 レッサーパンダ
分類 食肉目レッサーパンダ科
生息地 インド北東部、中国、ネパールなど
食べ物 (動物園) りんごなどの果物、ペレット、
さつまいもなどの野菜、笹
(野生下) 竹、笹、果物、昆虫、
鳥類の卵など
特徴 標高1000m以上の森林地帯に住んでいる。
足裏を含む全身がもふもふな体毛で
覆われていて寒さに強い。



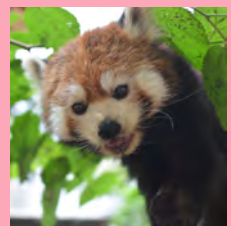
担当飼育員の推しポイント！
記念すべき初刊の表紙は、はまzooの
アイドル、レッサーパンダのチイタです！
レッサーパンダは手首の種子骨が発達し
指のように突出しているため、ものを握る
ことができます。大好きなリンゴを片手で
しっかりと握って食べる姿は必見！
食後のぐっすり寝ている姿にも癒されること
間違いなし！



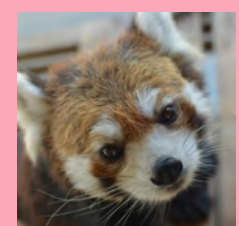
はまzooの個体紹介



チイタ♂ (2008/6/27生まれ)
マイペースでおっとり
長年の経験から、匂いだけで
美味しいリンゴを見極めることが
できるほどグルメ。



キララ♀ (2014/6/6生まれ)
穏やかで怖いもの知らず
鼻の上のびよんとはねた毛がチャーム
ポイント！のんびりしていてアラタに
リンゴを食べられることが多い。



アラタ♀ (2019/7/5生まれ)
好奇心旺盛だけど少しビビリ
換毛が下手で特に尻尾の毛が少ない。
リンゴを食べるスピードは誰にも負けない！



はまzooスタッフ広場

飼育員が日々取り組んでいる仕事を紹介！
動物園には色々な仕事があるんです00

飼育員奮闘記『キリンのトレーニング』

①キリンのトレーニングについて

浜松市動物園ではキリンの体調管理のために採血や体重測定を行っています。モルモットのような小動物であれば容易に保定して採血や体重測定を行うことができますが、キリンはとて大きく力も強いので、キリンの協力なしで採血や体重測定を行うことは難しいです。そのため、日々の飼育ではトレーニングによってキリンとの意思の疎通を図りながら、これらを行っています。

今回はキリンのルイ（5歳）の採血と体重測定のトレーニングについて紹介します。



②採血のトレーニング

キリンの血液は首の太い血管から採ります。飼育員がキリンに餌を与えながら首を下げさせている間に、獣医師が採血します。キリンが急に首を動かすと、人もキリンもケガをしてしまうので注意が必要です。

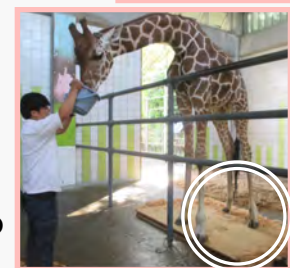
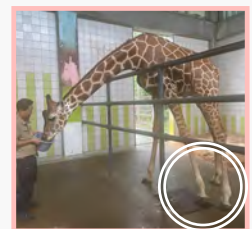
針を刺す刺激に驚くことがないように、トレーニングで慣れさせます。最初は首をさすったり、押したりと弱い刺激から始め、次に木の枝でつついたりなど針の刺激に近づけていきます。この時、好きな餌を与えながら行い、針の刺激に慣れさせていきます。

また採血は獣医師と行うためトレーニングは可能な限り複数名で行います。獣医師が来る時もあれば、飼育員同士で行うときもあります。当園に3頭いるキリンの中でもルイは特に神経質で、普段見慣れない人が首に触るとすぐに頭を上げてその場から離れてしまいます。根気強くトレーニングを行うことで、徐々に首を触っても気にしないようになりました。その結果、月に1度、安定して採血ができています。

③体重測定のトレーニング

体重測定を行うためには、キリンを体重計まで誘導し、体重計に乗ったら停止させるトレーニングが必要です。初めは見慣れない体重計に警戒した様子で部屋には1歩も入らず、体重計を撤収しても1時間ほど部屋に戻ってきませんでした。トレーニングはこの警戒心を弱めることから始めました。初めはルイから見える場所に体重計を設置し、体重計の存在を認知させましたが、警戒して近寄ってきませんでした。そこでより小さい板を設置しました。これは大丈夫なようだったので徐々に板を大きくしていきました。

板に慣れたら、次は乗る練習です。数センチの段差でさえも警戒します。そのぐらい慎重なのです。おが粉などでできるだけ板と床の段差をなくし、この板に乗ったら良いことがある（餌をもらえる）というふうに学習させました。その結果今年度は4回体重を測ることができました。ちなみにルイの体重は700kgありました。このように日々少しずつトレーニングによってできることを増やし、検査や治療の幅が広がるようにしています。



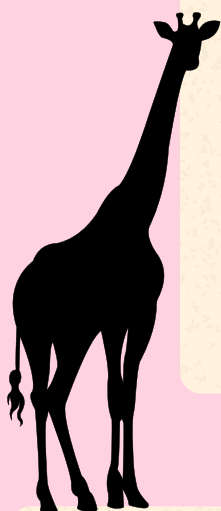


園長びより 『動物園と私』

私は、突然の人事発令で2014年8月に動物園に異動してきました。それまで、動物園の経験が全くなく、いきなり動物園の再生基本計画を策定することになってしまいました。と言われても、大人になって動物園にほとんど行ったこともなく、自分ができるのかなあと感じていました。

色々な方の協力を得て、2016年9月にやっと計画を策定することができました。その中で色々なことを教えてもらったり、多くの人と出会ったりすることができました。絶滅に瀕している動物たちは、野生から捕まえてくるのではなく、多くの動物園・水族館が協力し、動物を交換することによって繁殖に取り組んでいることなどを知りました。

また、生物多様性を保つためなど動物園の意義を考えさせられました。再生基本計画に基づいて色々なことを実施してきましたが、施設設備の計画があまり含まれておらず、施設の老朽化が進み、動物福祉の向上のためにも再整備を実施することがどうしても必要と考えています。そのため、再生基本計画を見直し、施設設備などの計画を進めていきたいと考えています。



獣医師のお仕事 『動物園の獣医師について』

浜松市動物園の獣医師による診療について簡単に紹介します。

動物の健康管理を担っている獣医師は現在3名で、協力して診療にあたっています。拠点となる動物病院は園内の来園者から見えないところにあります。

獣医師は基本的に毎日園内を巡回し動物を観察することで動物の健康状態を把握しています。それでも多くの場合は、動物の異常に初めに気付くのは飼育員であり、飼育員から診療に有用な情報を聞き出すことがとても重要です。連絡を受けて動物病院で診察を、といきたいところですが簡単に連れてこられる動物ばかりではないため、実際には薬剤や検査器具などを持って動物のいる獣舎へ出向くことがほとんどです。動物病院に連れてこられないだけでなく、触れない、血液を採れない、教科書と呼べるようなものがない、などは動物園・水族館で診療を担う獣医師のあるあると言えますし、非常に頭を悩ませるところです。



どうぶつクイズ

日本在来家畜であるトカラヤギは
どの都道府県原産でしょう？

- ①鹿児島県 ②静岡県
③北海道 ④長野県

答えはこのページの1番下にあるよ。



11・12・1月のニュース

これからよろしくね

11月23日	誕生	モルモット (つぶあん・こしあん・みそまん)
11月26日	誕生	モルモット (しゃきしゃき)
1月22日	誕生	アビシニアコロブス
1月27日	搬入	オオカンガルー (トント・タンタ) ⇒東京都恩賜上野動物園より

今までありがとう

11月11日	搬出	モルモット (するが・とおとうみ・いず) ⇒豊橋総合動植物公園へ
11月16日	死亡	ベニイロフラミンゴ
12月19日	死亡	ジュズカケバト
12月21日	死亡	カリフォルニアアシカ (ルーシー)
12月27日	死亡	シシオザル (バイオレット)
1月08日	死亡	スマトラオランウータン (ムカ)

フォトギャラリー

仲良し兄妹!



ツキノワグマ

クラッシュアイスで
ひんや〜り♪



ホッキョクグマ

初めての鮭♡



ヒグマ

開園時間 9:00~16:30 (最終入園16:00)
入園料 大人(高校生以上)500円、中学生以下無料、満70歳以上の高齢者無料、
障がい者・療育手帳をお持ちの方は本人・介護者1名無料
住所 浜松市中央区館山寺町199
電話番号 053-487-1122
FAX 053-487-1125
Eメール hamazoo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
動物取扱業登録番号 第223307086号
動物取扱業責任者 須山総子



公式X



ホームページ